

「できマウス S2。」ユーザーマニュアル

2019.03.04-→2020.02.12

お好みの外部スイッチで、Windows iOS/iPadOS macOS Android を利用したい！その願いのお手伝いのできたらうれしいです。



「できマウス。」プロジェクト
<https://dekimouse.org/wp/>

目次

1. 「できマウス S2。」の概要
2. 「できマウス S2。」の各部の名称
3. 「できマウス S2。」の仕様
4. 「できマウス S2。」のモード切替とモードの確認
 - 4-1. モード切替
 - 4-2. モードの確認と機能
5. 「できマウス S2。」Windows や Android で使う
 - 5-1. マウスキー1個モード
 - 5-2. 「できマウス S2。」を GamePad (「できマウス。」互換)として利用する
6. 「できマウス S2。」を macOS で使う
 - 6-1. Mac のスイッチコントロールで使う
 - 6-2. Mac の Switch XS で使う
7. 「できマウス S2。」を iOS/iPadOS で使う
 - 7-1. iOS/iPadOS のスイッチコントロールで使う
 - 7-2. iOS/ iPadOS で DropTalk を外部スイッチで使う
 - 7-3. iPadOS でトーキングエイド for iPad を外部スイッチで使う
 - 7-4. iOS/iPadOS で Space/Enter/→/←のキーを利用するアプリを使う
 - 7-5. iOS/iPadOS で Space/h/k/l(エル)のキーを利用するアプリを使う
 - 7-6. iOS/iPadOS でマウスを利用してポインターを動かして使う
8. 視線入力での利用
9. 「できマウス S2。」の iOS/ iPadOS における特殊な機能
10. 「できマウス S2。」のオプション(別売品)
11. 電話サポートを受けたい。
12. GamePad モードの動作確認方法
13. 「できマウス S2。」製品の確認方法

対応している OS 製品

Windows macOS iOS(純正 USB アダプタ必要)
Android マウス機能・スイッチアクセス対応
(USB 変換アダプタが必要)

文中の記号

SW1 から SW4 とは、「できマウス S2。」のスイッチ挿入口の数字と同じです。

10 Windows のなかでも Windows10 以降

Mac Mac の操作に関する事項

iOS iOS/iPadOS の操作に関する事項

最新版マニュアルはホームページからダウンロードしてご覧ください。

<https://dekimouse.org/wp/kiki/dekimouses> から PDF でダウンロードできます。

「できマウス S2。」は、生まれたばかりです。皆様の愛ディアで育てていただけたら幸いです。不具合などございましたら、ご連絡とご協力をよろしくお願いいたします。

Windows は Microsoft 社、Mac iPad は Apple 社、Android は google 社の登録商標です。

1. 「できマウス S2。」の概要

前身の「できマウス。」は、2001年に発表から時が経過し「できマウス S。」「できマウス3Ai。」と引き継いでまいりました。このたび、上位互換として「できマウス S2。」を開発いたしました。従来の GamePad の機能はそのままですので、「できマウス。」の仲間たちと称する支援アプリ(ホームページをご覧ください)や周辺機器もご利用できます。「できマウス S2。」は、さらにマウスやキーボードの機能も提供いたしますので、一台三役といった製品となっています。タッチ PC ではタッチするとマウスカーソルが消えますが、その再表示機能もあります。

Windows では、HeartyLadder や Peat のスイッチとしてご利用できます。簡単操作センターのスクリーンキーボードのオートスキャン機能もご利用できます。視線入力視線入力の決定スイッチとしてもご利用できます。

iOS/iPadOS や macOS のスイッチコントロールやマウスカーソル操作が可能です。SwitchXS でご利用できます。(iOS/iPadOS では純正 USB アダプタが必要)。Android(携帯含む)での利用もできます。

2. 「できマウス S2。」の各部の名称



「できマウス S2。」外観



スイッチ接続部には、4個までのスイッチを接続することができます。また、このジャックに挿入したスイッチを ON のまま USB に接続しますと、操作モードや操作ブザー音の設定ができます。



側面に拡張コネクタがあり、オプションケーブルでスイッチを8個まで増設可能。電源供給も可能。

3. 「できマウス S2。」の仕様

1. 名称	「できマウス S2。」
2. 機能	<p>スイッチやセンサーを IT 機器に接続する仲立ちをします。</p> <p>PC によりますが「できマウス S2。」に接続したスイッチで Sleep から復帰できます。(iPhone は純正アダプタ、Android 携帯電話は USBtypeC の場合は、USBtypeC アダプタの利用で復帰可能)</p> <p>DeepSleep モード搭載で省電力。</p> <p>タッチタブレット PC は Windows も Android もタッチしてしまうとマウスカーソルが消えますが、「できマウス S2。」に接続したスイッチに触れますと、マウスカーソルが再表示されます。</p> <p>バージョンアップが可能。バージョンアップのお知らせはホームページにてお知らせいたします。</p> <p>本体側面の拡張コネクタで、スイッチ 8 個まで対応と外部への電源出力も可能 (オプション扱い)</p>
3. モード	<p>GamePad モード: 従来の「できマウス。」互換です。</p> <p>このモードでは、HeartyLadder・Peat などの操作や Windows のスクリーンキーボードのスクラン操作ができます。</p> <p>SwitchXS の操作ができます。視線入力のスイッチ BOX としても利用可 (Miyasuku・Hearty)。</p> <p>マウスキー1個モード: スイッチ1個の長短 ON の組み合わせで、マウスやキーボード機能を利用できます。</p> <p>AssistiveTouch 利用のマウスカーソル対応 (iOS/iPadOS13 以降)</p> <p>視線入力のスイッチ BOX としても利用可 (Orihime eye)。</p> <p>スイッチアプリ A モード: Space / Enter / →/ ←で利用する iOS アプリで利用できます。(スイッチコントロールでも利用可)</p> <p>スイッチ4個モード: iOS や macOS のスイッチコントロールに対応(スイッチの長押しに対応)</p> <p>スイッチアプリ B モード: Space / h / k / l(エル) DropTalk やトーキングエイド for iPad で利用できます。(スイッチコントロールでも利用可)</p> <p>マウス回数モード: AssistiveTouch 利用のマウスカーソル対応 (iOS/iPadOS13 以降)</p>
4. 電源	不要(USB 端子から供給されます。) 10mA
5. 大きさ	横35mm 縦75mm 高12mmのプラスチックケース(黒)に入っています。ケーブル先端に USB 端子が付いています。
6. 重さ	約 30g
7. 安全対策	ポリスイッチ(再生可能なヒューズ)を搭載
8. USB 規格	USB2.0 準拠・電源管理対応(PC の Sleep からの復帰が可能)・VendorID 取得

9. 対応 OS	Windows10/8.1/7/ iOS/iPadOS/macOS/Android6.0 以降
10. コネクタ	スイッチ端子は4個。側面にスイッチ8個と電源供給コネクタが付いています。ピン配置を公開しています。
11. 付属品	なし。「できマウス。」の仲間たち(Windowsのみ対応 無料ダウンロード可能)
12. 別売品	「できレバースイッチ3S。」・マイクロ USB ホスト変換アダプタ

4. 「できマウス S2。」のモード切替とモードの確認

「できマウスS2。」をはじめてWindowsのUSB端子に挿入の際は、出荷状態のまま挿入し、ドライバーが組み込まれる約10から20秒間は、USB端子から抜かないでください。iDeviceは関係ありません。

4-1.モード切替 PPS スイッチではモード切替設定ができません(PPS スイッチは長押し信号が出力されないため)

SW2からSW4までのジャックに挿入したスイッチをONしながら電源の入ったPCや携帯端末のUSBポートに挿入することで、モードが切り替わります。○印の中の数字は、モードの状態を示すブザーの音の回数です。

【注意】操作モードを決めましたら、基本的に挿入したスイッチをSW1に戻してください。

SW2: GamePad モード①/マウスキー1個モード②/スイッチアプリAモード③と順に入れ替わります。

SW3: スイッチ4個モード④/スイッチアプリBモード⑤/マウス回数モード⑥と順に入れ替わります。

SW4: 操作ブザー音ON/OFFを切り替えます。(GamePadモードではスイッチを操作してもブザー音はなりません)

ブザー音OFFでも、操作モード確認時にはブザー音がなります。

4-2.モードの確認と機能

「できマウスS2。」に接続したスイッチに触れずに、電源の入ったPCや携帯端末のUSB端子に挿入するとブザー音がなります。

その音の回数でモードを知ることができます。本体シール貼付のシールの丸印の数字と音の回数が同じです。

ピップ1回:旧「できマウス。」互換モードで、GamePadとして機能します。

視線入力 miyasukuSW や HeartyAi や TobiiTC スキャンの決定キーとして機能します。

macOSのスイッチコントロールや SwitchXSのスイッチとして機能します。

ピップ2回:マウスキー1個モードとして機能します。スイッチを①に接続して利用します。6ページの表をご覧ください。

スイッチをSW2に挿入するとマウスのクリック信号が、SW4に挿入すると、視線入力 OriHimed eye+SWの決定キーとして機能します。

ピップ3回:スイッチアプリAモードとして機能します。iOS/iPadOSやmacOSのスイッチコントロールでも機能します。

Space/Enter/→/←の信号が各端子から出力されます。Windowsのパワーポイントのスライドショーでも利用できます。

ピップ4回:スイッチ4個モードとして機能します。iOSやmacOSのスイッチコントロールの長押しに対応します。

↓ / ← / ↑ / → の信号が各端子から出力されます。

ピッ5回:スイッチアプリ B モードとして機能します。iOS/iPadOS や macOS のスイッチコントロールでも機能します
 ドロップトークやトーキングエイド for iPad で利用できます(スイッチコントロール OFF で利用します)。
 Space / Enter / k /l(エル)の信号が各端子から出力されます。
 Android のスイッチアクセスでも利用できます。

ピッ6回:マウス回数モードとして機能します。PPS スイッチで操作できます。11 ページの 7-6 項の表をご覧ください。

*「できマウス S2。」自身が Sleep から起きる際には、まれにピッ 5 回以上鳴る場合があります。その後、上記の1回から 6 回の音が鳴ります。

5. 「できマウス S2。」を Windows や Android で使う

5-1.マウスキー1個モード (長短 On が難しい場合は、短 On だけでも操作できます 7-6-3.使用方法をご覧ください。)

マウスキー1個モードに設定したのちに、SW1 に接続したスイッチの長短 ON の組み合わせで操作します。

SW2 に接続したスイッチは、マウスの左ボタンの機能を有します。

スイッチを SW4 に挿入すると、支援入力 OriHimed eye+SW の決定キーとして機能します。

iOS13 や iPadOS13 以降では、マウスカーソルがサポートされ、それにも対応しております。7-6.をご覧ください。

マウスキー 1 個モード (スイッチ長短で操作 0 : 短 ON 1 : 長 ON) 10 は Windows10 のみ機能				
No.	操作	項目	カーソル移動中	カーソル停止中
01	0	カーソル移動	90 度方向転換しながらカーソル移動します。	
02	00	カーソル速度/マウスボタン	超低速移動	左ダブルクリック
03	000	カーソル速度/スクロール	高速移動 (0 でノーマル速度)	上下スクロール 10
04	1	マウスボタン	停止またはドラッグ解放	マウス左クリック
05	01	マウスボタン	マウス右クリック (Android 携帯では前に戻る機能となる)	
06	001	矢印キー	右矢印キー	
07	0001	Win+S	検索	
08	00001	Esc	Esc キー	
09	10	Space	Space キー	
10	010	矢印キー	上矢印キー	
11	0010	Win+U	簡単操作センター表示	
12	11	カーソル移動/ドラッグ	180 度反対方向へ移動	ドラッグ開始
13	011	矢印キー	下矢印キー	
14	0011	TAB	TAB	

15	100	矢印キー		左矢印キー
16	101	PageDown		PageDown
17	0101	HOME		iOS iPadOS と Android で機能
18	110	PageUp		PageUp
19	111	Cortana 起動	10	Cortana の ON/OFF (マイクも自動 ON) コルタナの設定が必要
28	1000	Ctrl+A		全選択
20	1001	Ctrl+C		コピー
21	1010	Ctrl+V		貼り付け
22	1011	Ctrl+X		切り取り
23	1100	Ctrl+Y		やり直しのやり直し
24	1101	Ctrl+Z		やり直し
25	1110	Ctrl+Alt+K		スクリーンキーボード表示 (App にショートカット設定が必要)
26	01110	Win+TAB		タスク一覧
27	1111	Win+A	10	アクションセンター表示 (右からスワイプ)
28	10000	カーソル確認		マウスカーソルデスクトップの左上隅に移動 (カーソル行方不明用)

5-2. 「できマウス S2。」を GamePad(「できマウス。」互換)として利用する

「できマウス。」の仲間たち(ダウンロード版)をインストールして、「できマウス S2。」にマウスやキーボードの機能を与えます。

詳しくは、ホームページにて“「できマウス。」の仲間たち”をご覧ください。

「できマウス。」の仲間たちは下記にあります。無料でダウンロードができます。パスワードは保証書に記載されております。

<https://dekimouse.org/wp/download/member/DekimouseNakamatachi.pdf>

Windows の簡単操作センターのスクリーンキーボードのオートスキャンで利用することができます。

HeartyLadder や Pete の入力機器として利用することができます。MacPC ではスイッチコントロールや SwitchXS の操作ができます。

視線入力の決定スイッチとして利用できます。(視線入力についてを参照)

6. 「できマウス S2。」を macOS で使う

6-1. Mac のスイッチコントロールで使う

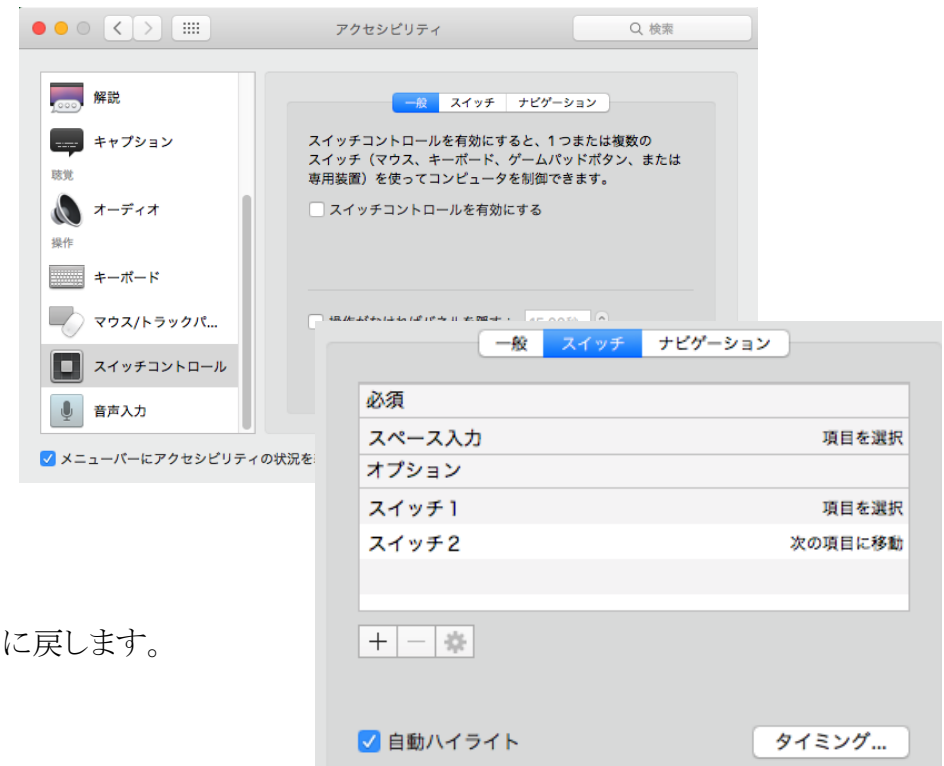
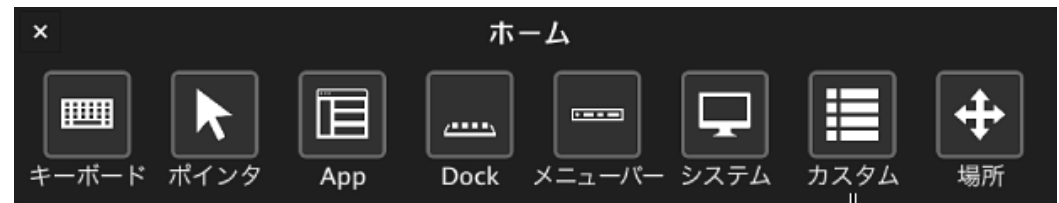
「できマウス S2。」をスイッチ4個モードか GamePad モードに設定したのち、スイッチを SW1 に戻します。

Mac に接続した際にキーボード設定アシスタントが表示した場合は、無視して閉じてください。

システム環境設定からアクセシビリティを選択します。

アクセシビリティでスイッチコントロールを選択、スイッチを選択します。

SW1から SW4 にスイッチを接続してスイッチコントロールを利用する場合は、+を選択し、SW1 に接続したスイッチを ON し、名前を付けてアクションを設定します。右図の例は、SW1 と SW2 を設定した例です。SW1 から SW4 まで利用でき、長押しもサポートしております。一般に戻ってスイッチコントロールを有効にします。



6-2. Mac の SwitchXS で使う

「できマウス S2。」を GamePad モードに設定したのち、スイッチを SW1 に戻します。

SwitchXS の入力機器を GamePad あるいは JoyStick を指定します。

7. 「できマウス S2。」を iOS/iPadOS で使う

7-1. iOS/iPadOS のスイッチコントロールで使う

7-1-1. 準備するもの

iOS/iPadOS 機器のコネクタによって異なります。Lightning の場合は、Apple 純正の Lightning - USB3 カメラアダプタ(型番 MK0W2AM/A)が必要です。USB-typeCの場合は typeC 変換アダプタが必要です。

「できマウス S2。」をカメラアダプタの USB 端子に挿入し、iPad 付属の充電ケーブルをカメラアダプタの Lightning コネクタに挿入しますと



Apple 純正の Lightning - USB3 カメラアダプタ

iPad の Sleep からの復帰ができます。4個のスイッチ接続箇所のどこでも復帰可能です。

iOS 機器のコネクタが USB-typeC の場合は、「できマウス S2。」のケーブル先端に typeC 変換アダプタを接続してください。

7-1-2. 設定方法

「できマウス S2。」をスイッチ4個モードにします。(タッチのマウスキーは OFF にしてください)

iOS の設定/(一般)/アクセシビリティ/スイッチコントロール/スイッチとタップします。

スイッチの項で新しいスイッチを追加/外部と選択します。

アクティベートしてくださいと表示します。

SW1 に接続したスイッチを On して、名前(例 DM4-1)を付けて保存し、アクションを選択します。

スイッチ1個以上使用可能な場合は、同じように、SW2 から SW4 の設定を行ないます。

アクション設定では、**長押し**もサポートしております。(長押しを有効にしますと、iDevice の反応がワンテンポ遅れるようになります。OS の仕様です。)

SW1 から SW4 の出力は ↓ ・ ← ・ ↑ ・ → となります。



スイッチコントロールでは、スイッチ4個モード以外のスイッチアプリ A モードないしスイッチアプリ B モードでもアクション割り当てが可能です。

「できレバースイッチ 3S。」を拡張コネクタに挿入して利用できます。

7-2. iOS/iPadOS で DropTalk を外部スイッチで使う

7-2-1. 準備するもの

上記の 7-1-1 と同じです。

7-2-2. 設定方法

「できマウス S2。」をスイッチアプリ B モードにします。iOS のスイッチコントロールは OFF にします。

iOS のメモを開いて、半角英数字入力になっていることを確かめます。キーボードが表示しない場合は、「できマウス S2。」を一旦外すか、SW2 を長押しして、1回目のブザー音でスイッチを放すとスクリーンキーボードが表示します。

DropTalk の設定で、外部スイッチを使うに設定し、各スイッチテキスト欄をアクティブにして、「できマウス S2。」に接続したスイッチを SW1 から順に On しますと、設定キーが表示されます。

7-3.iPadOS でトーキングエイド for iPad を外部スイッチで使う

7-3-1. 準備するもの

上記の 7-1-1 と同じです。

7-3-2. 設定方法

「できマウス S2。」をスイッチアプリ B モードにします。iPadOS のスイッチコントロールは OFF にします。

トーキングエイド for iPad の外部キー設定が、スイッチ A がスペース、スイッチ B がhになっていることを確認します。

7-4.iOS/iPadOS で Spase/Enter/→/←のキーを利用するアプリを使う

アプリ自体が外部スイッチに対応している場合に利用できます。* Windows のパワーポイントのスライドショーの操作も可能です。

7-4-1. 準備するもの

上記の 7-1-1 と同じです。

7-4-2.設定方法

「できマウス S2。」をスイッチアプリ A モードにします。iOS/iPadOS のスイッチコントロールは OFF にします。

スイッチ対応アプリを使わない場合は、スイッチコントロールでアクション割り当てが可能です。(長押しはスイッチ4個モードのみサポート)

7-5.iOS/iPadOS で Space/h/k/l(エル)のキーを利用するアプリを使う

アプリ自体が外部スイッチに対応している場合に利用できます。トーキングエイド for iPad や Drop Talk などの操作ができます。

7-5-1. 準備するもの

上記の 7-1-1 と同じです。

7-5-2.設定方法

「できマウス S2。」をスイッチアプリ B モードにします。iOS/iPadOS のスイッチコントロールは OFF にします。

7-6.iOS/iPadOS13 以降でマウスを利用してポインターを動かして使う

iOS13 や iPadOS13 以降では、マウスカーソルがサポートされ、それに対応しております。

7-6-1. 準備するもの

上記の 7-1-1 と同じです。

7-6-2.設定方法

「できマウス S2。」をマウス回数モードまたは、マウスキー1個モードにします。iOS/iPadOS の AssistiveTouch を ON にします。

利用者ご自身で、マウス操作とスイッチコントロールを切替て操作できます。表の***印の機能だけでも操作可能**

「できマウス S2。」の SW1 にスイッチを接続して利用します。マウス操作が困難な場合に、1個のスイッチ操作でポインターを動かさせます。

ユーザー定義は、iOS/iPadOS13 以降タッチ/AssistiveTouch/デバイスで「できマウス S2。」を選択すると定義可能になります。

7-6-3.使用方法（この表の機能は、iOS/iPadOS13 以降 や Windows や Android で一部機能します。）

1. 短 On のみで操作(マウス回数モード) 注)iOS/iPadOS のアイコンのドラッグはできません

マウス回数モード ピエゾスイッチも利用可能 SW1 に接続したスイッチの ON の回数で操作します。				
No	回数	項目	カーソル移動中	カーソル停止中
*	01	1	カーソル移動	90 度方向転換しながらカーソル移動します。
*	02	2	カーソル停止/左ボタン	停止してドラッグ解放 左ボタン
*	03	3	カーソル移動反転/右ボタン	反対方向に移動 右ボタン
	04	4	HOME ボタン/ボタン 4	HOME ボタン ボタン 4 (ユーザー定義)
	05	5	カーソル低速移動/ボタン 5	低速移動 ボタン 5 (ユーザー定義)
	06	6	キーボード表示・非表示/ボタン 6	キーボード表示非表示 ボタン 6 (ユーザー定義)
	07	7	左ボタン長押し/ドラッグ開始	左ボタン長押し 画面ドラッグ開始 注)
	08	8	スイッチコントロール切替	スイッチコントロール操作 Space キー/マウス回数モードに切り替える
	09	9	機器を Sleep にして自分も Sleep	iDevice を Sleep にして「できマウス S2。」も Sleep

2. 長短 On で操作(マウスキー1個モード)

マウスキー1個モードに設定したのちに、SW1 に接続したスイッチの長短 ON の組み合わせで操作します。

マウスキー1個モード (スイッチの長短で操作 0 : 短 ON 1 : 長 ON) iOS/iPadOS13 以降で機能				
No.	操作	項目	カーソル移動中	カーソル停止中
*	01	0	カーソル移動	90 度方向転換しながらカーソル移動します。
	02	00	カーソル速度/マウスボタン	超低速移動/ノーマル速度に戻す 左ダブルクリック
	03	000	カーソル速度/	高速移動 (戻すには、0) ボタン 3 (ユーザー定義)
	04	0000	(4 回)	HOME ボタン ボタン 4 (ユーザー定義)
*	05	1	マウスボタン	停止とドラッグ解放 マウス左クリック
*	06	01	マウスボタン	マウス右クリック

07	11	カーソル移動/ドラッグ	180度反対方向へ移動	ドラッグ開始
08	101	PageDown	行スクロールダウン	ページダウン(1で停止)
09	110	PageUp	行スクロールアップ	ページアップ(1で停止)
10	10000	カーソル確認	マウスカーソルデスクトップの左上隅に移動(カーソル行方不明用)	
11	00000	(5回)	左ボタン長押し/停止中は	ボタン5(ユーザー定義)
12	000000	(6回)	キーボード表示非表示	ボタン6(ユーザー定義)
13	00000000	(8回)	スイッチコントロール操作 Space キー/マウス回数モードに切り替える	
14	000000000	(9回)	iDevice を Sleep にして「できマウス S2。」も Sleep	

8.視線入力での利用

「できマウス S2。」は視線入力の決定スイッチのインターフェイスとして利用できます。

視線入力ソフト起動前に、「できマウス S2。」を USB 端子に挿入し、視線ソフトの入力デバイスの設定をおこなってください。

miyasuku や HeartyAi や TobiiTC スキャンは、GamePad モード(GamePad の動作確認を参照)

OriHimed eye+SW では、マウスキー1個モードでスイッチを SW4 に挿入で、ご利用いただけます。

9. 「できマウス S2。」の iOS/iPadOS における特殊な機能

スイッチアプリ A モードとスイッチアプリ B モード/スイッチ4個モードでは次の機能があります。

SW2 に接続したスイッチを長押し続けるとブザー音の回数が増加します。その回数で外部スイッチを OFF すると下記の機能となります。

ブザー音1回:スクリーンキーボードの表示/非表示

ブザー音2回:HOME 機能

ブザー音3回:トリプル HOME

ブザー音4回:iOS/iPadOS 機器を Sleep し、「できマウス S2。」も Sleep

10. 「できマウス S2。」のオプション (別売品)

10-1. 「できマウス。」の仲間たち (Windows のみ ダウンロード版)

「できマウス S2。」あるいは、「できマウス。」シリーズのユーザー様は、ダウンロード版が無料で入手できます。

GamePad モード(視線入力も含む)以外でのご使用の際は、ダウンロードは不要です。

「できマウス。」の仲間たちの内容は右記サイトからご覧ください。 <https://dekimouse.org/wp/app/>

GamePad モードでスイッチにキーやマウスの機能を自由に割り当てが可能。設定内容に名前を付けて保存できます。

スクリーンキーボードを選択することができない場合があります。そのようなとき、そのアプリを**管理者モードで起動**すると機能してくれます。
自動スタートさせるには、**タスクスケジューラーに登録**してください。参考 <https://dekimouse.org/wp/?p=10912>

10-2.「できレバースイッチ3S。」

「できマウス S2。」の側面の拡張コネクタにケーブルを挿入します。スイッチとの対応は、「できレバースイッチ 3S。」の説明書をご覧ください。

10-3.USB ホスト変換アダプタ

USB 端子がマイクロ USB 変換アダプタが、typeC の場合には typeC 変換アダプタが必要になります。
携帯端末に接続の場合は、ホスト機能付きのアダプタが必要となります。

電話サポート



11.電話サポートを受けたい

ホームページのサポート予約サイトからお問い合わせください。ご希望の日時をメールにて確認後、こちらからお電話いたします。
https://dekimouse.org/wp/dekimouse_support_yoyaku/

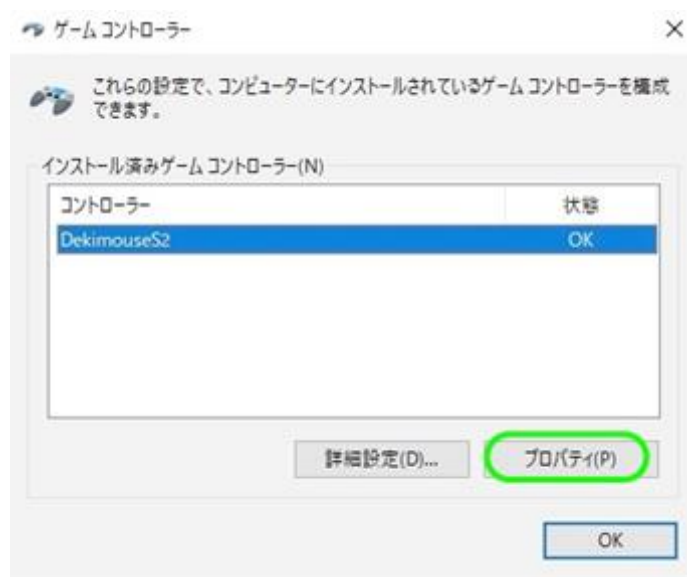
12.GamePad モードの動作確認方法 (Windows10)

手順1. 設定からデバイスを選択します。

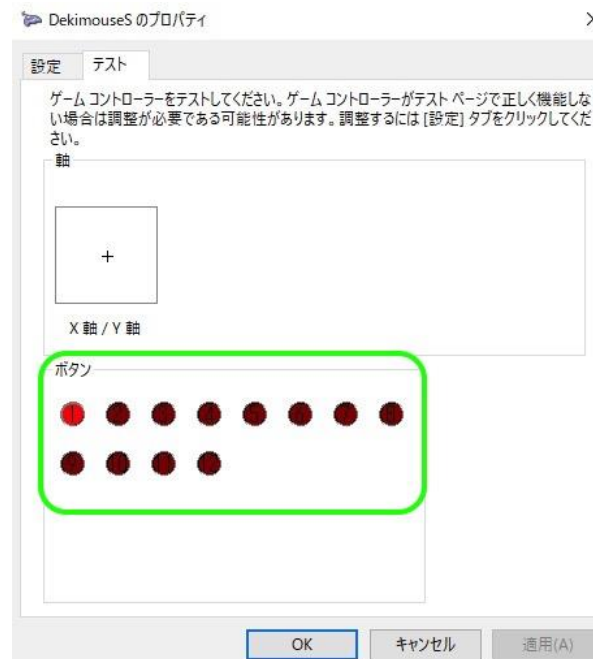
手順2. 「できマウス S2。」を右クリックメニューでゲームコントローラの設定を選択。



手順3. プロパティを選択します。



手順4. 「できマウス S2。」に接続したスイッチを ON すると該当の番号が赤く表示します。



もし、赤く表示しない場合は、接続スイッチの挿入を確認します。それでも機能しない場合は、手順2に戻り、デバイスの削除を行い、あらためて手順1から操作します。

13. 「できマウス S2。」製品の確認方法

本体ケース表面に製品名のシールに記載があります。接続した機器のデバイス一覧で、DekimouseS2 と表示されます。

「できマウス。」プロジェクト
<https://dekimouse.org/wp/>
Tel 049-288-1312
fax 049-288-1323
info@dekimouse.org



トップページ

